

➤ 「賑わいの科学」を目指す歩行者エージェントシミュレーション

阿部 宥太郎, 小林 蓮太郎, 田上 源士 (名古屋工業大学 創造工学教育課程)

兼田研究室の歩行者エージェントシミュレーションの研究の2019年度の取り組みと成果,
また2020年度の研究方針を発表する.

なお, 言及する研究内容は

『Using agent-based simulation for public space design based on the Shanghai Bund
waterfront crowd disaster』

『群衆規模を扱う視界駆動型歩行者エージェントモデルに関する研究』

『3次元空間内でのサイン認知と経路選択を扱う歩行者エージェントシミュレーションの
研究』

などを含む (共著者は別途追加する予定) .

また, 広場空間の賑わいとして岐阜県多治見市の虎溪用水広場を取り上げ, 高低差のある
三次元空間上の歩行者エージェントシミュレーションについても紹介する予定である.

シミュレーション環境としては, artisoc, ゲームエンジンUnityなどである.